

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 6月22日(木) 発行人：校長 森内 秀学

「あいさつ」もあられる時津小 に…

— あいさつを 大きな声でします
— へんじを はっきりいいます
— はきものを きちんとそろえます
— まわりを いつもきれいにします
— 時間を きちんとまもります

時津町には、町民すべての道徳心を高める道しるべがあります。「五つのしおり」です。この五つのしおりの中でも真っ先に出てくるのが、あいさつの項目です。あいさつに関して、作家で実業家の、テール・カーネギーさんは、次のような言葉を残しています。

「人に好感をもたれたければ、誰に対してもあいさつをすることだ。

あいさつほど、簡単で、たやすいコミュニケーション方法はない。」

つまり、「あいさつができる人間は、人から好かれる」ということでしょう。確かに、あいさつをされると、こちらの心が開きます。

さて、先日、あるご来賓の方々が本校にお越しくださる機会がありました。その際、「子どもの姿で気になる点」として口をそろえておっ

しゃっていたのが、この「あいさつ」でした。子ども自身も、改善に向けた取組を始めたかと思っていた矢先のことでした。

その日の午後、各委員会の代表児童や学年主任に、そのことを伝えました。そして、いつか見ていただく機会があったら、成長した姿をお見せしようじゃないかと話しました。

その翌日のことです。子どもたちの校内でのあいさつは、見違えるようによくまりました。本校の教員の指導力と、すぐに変わる子どもの変容力はすごいな、と思いました。

五つのしおりは、「町民みんなで子どもの道徳心を育てる際の道しるべ」とも言えます。1日で良くなった校内のあいさつが続くように、校外でもできるように、そして、人から好かれる子どもになるように、ご家庭でも地域でも、積極的なかわりをお願いします。



平和って何だろう～永遠の会 講話～

6月17日の土曜授業には多数ご参観いただきありがとうございました。さて、その土曜授業のプログラムの一つに、原爆の被害を通して平和について考える時間がありました。きっかけとなるご講話をしてくださったのは、「永遠の会」という語り部の会に所属されている辻さんと黒板さん。映像や模型を駆使しながらの語り

は、心に染みるものがありました。

長崎外大の留学生との交流会開催

6月21日は、長崎外国語大学の留学生と本校の5年生が交流を行いました。クイズや日本ならではの遊びなどを通して英語で関わり合う姿は、さながら国際人でした。

